



校長室だより

1月号 西麻植小学校



新年あけましておめでとうございます



2026（令和8）年1月8日（木）、2週間の冬休みを終え、いよいよ3学期のスタートです。全校児童が元気に登校することができ、全員で始業式を迎えることができました。久しぶりの学校に、子どもたちの元気な声と明るい笑顔が見られたことを大変嬉しく感じています。

【始業式での校長から子どもたちへの話】

- 学校は勉強する場所であると同時に、「いのち」を大切にし、「こころ」を育て、「なかま」と繋がる場所である。
- 友だちの言葉に耳を傾けたり、困っている人に声をかけたりすることが、学校を安心できる場所にしてくれる。
- 短い3学期だが、一年間の学びと成長を仕上げる「まとめの学期」である。
- この1年で「できるようになったこと」「頑張ってきたこと」をふり返り、新しい年の「めあて」を立てよう。
- 大きなめあてでなくてよい。「あいさつを続ける」「自主勉強を1日30分頑張る」など小さなめあてを毎日続けていくことが大切である。
- 今年は午年。馬は、一頭だけでなく、なかまと歩調を合わせることで遠くまで走ることができる。みなさんも、友だちと支え合い、助け合いながら、前に進んでほしい。
- 3学期は、次の学年に向かう大切な準備の時間。いのちを大切にし、こころをつなぎ、なかまとともに最後まで走りきる3学期にしていこう。・・・と いった内容の話を伝えました。

この1年のスタートにあたり、頑張りたいこと、挑戦してみたいこと等、志をしっかりと持って、いきいきと活動してほしいと思います。

今年の1月6日には、鳥取・島根県で大きな地震が発生しました。昨年は阪神淡路大震災から30年目を迎える年でもあったこと、また、徳島県民にとっては「南海トラフ地震」が懸念されるところでもあり、「防災・減災・縮災」を改めて考えていかなければならぬと感じています。今の私たちに何ができるのか、今のあたりまえの生活や、安心・安全で幸福な生活が継続できるようにすることは大変大切なことです。

今年も、学校においての「安心・安全」な生活が送れることを第一に考えた学校運営を進めてまいります。本校教育へのご理解、ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。